

令和5年第10回教育委員会議臨時会 会議録

1. 開催日時等 令和5年12月7日(木)
午前9時00分開会 午後2時48分閉会
2. 開催場所 ニセコ町役場 多目的ホール
3. 出席委員等 教育長 片岡辰三
1番委員 下田伸一
2番委員 越湖明美
3番委員 巻礼子
4番委員 千葉つむぎ
4. 欠席委員 なし
5. 事務局出席者 学校教育課長 淵野伸隆
こども未来課長兼幼児センター長 齊藤徹
学校給食センター長 三橋公一
有島記念館長 寺嶋弘道
学校教育課総務係長 島田桃子
6. 会議録署名委員 1番委員 下田伸一
7. 議 件

会議録署名委員の指名について

報告第1号 令和6年度(2024年度)当初教職員等人事異動希望状況について

報告第2号 ニセコ町立学校職員の自家用車の公用使用に関する要綱の一部改正について

議案第1号 学校教育施設における休業日の改正に係る関係規則の整備について

議案第2号 令和6年度(2024年度)ニセコ町教育費予算(案)について

8. 議事の概要

教育長: 定刻となりましたので、ただ今から第10回教育委員会議臨時会を開催いたします。

本日の議事日程は、予めお配りした議事日程表のとおりです。

日程第1、会議録署名委員の指名を行います。

会議規則第12条第5項の規定により、「1番 下田委員」を指名いたします。

教育長: 「日程第2 報告第1号 令和6年度(2024年度)当初教職員等人事異動希望状況について」を議題といたします。説明をお願いします。

・・・学校教育課長が議案を読み上げ、内容説明・教育長補足説明・・・

教育長：「報告第1号」の説明が終わりました。

それでは、質疑を行ないます。質疑はありませんか。

・・・質疑なしの声・・・

教育長：以上で報告済みといたします。

教育長：「日程第3 報告第2号 ニセコ町立学校職員の自家用車の公用使用に関する要綱の一部改正について」を議題といたします。説明をお願いします。

・・・学校教育課長が議案を読み上げ、内容説明・・・

教育長：「報告第2号」の説明が終わりました。

それでは、質疑を行ないます。質疑はありませんか。

・・・質疑なしの声・・・

教育長：以上で報告済みといたします。

教育長：「日程第4 議案第1号 学校教育施設における休業日の改正に係る関係規則の整備について」を議題といたします。

事務局から提案理由の説明をお願いします。

・・・学校教育課長が議案を読み上げ、内容説明・・・

教育長：「議案第1号」の提案理由の説明が終わりました。

それでは、質疑を行ないます。質疑はありませんか。

下田委員：休業日の規定が変わることで、日課も変わりますか。

教育長：日課自体は変わりません。授業時数を考慮しながら、全体で柔軟に休業日を設定することになります。

下田委員：教員の負担が増える部分もありそうですか。

教育長：都市部であれば、夏休みを長く設定した場合冬休みを短くするなど対応可能な部分もありますが、ニセコ町の場合は積雪が多く対応が難しいことが考えられます。年間のバランスを考えていかないと、時数を確保できなくなる可能性があるため、時数管理をしていくことが重要になってきます。現在各施設のエアコン設置に向けた対応を取っているところですが、ハード面と合せた整備を行い弾力的な運営を図っていきたいと思います。

教育長：ほかにありませんか。

・・・質疑なしの声・・・

教育長：以上で質疑を打ち切ります。

「日程第4 議案第1号 学校教育施設における休業日の改正に係る関係規則の整備について」は、提案のとおりとすることに異議ございませんか。

・・・異議なしの声・・・

教育長：異議なしと認め、「議案第1号」は、原案のとおり決しました。

教育長：「日程第5 議案第1号 令和6年度ニセコ町教育費予算（案）について」を議題といたします。

事務局から提案理由の説明をお願いします。

・・・学校教育課長が議案を読み上げ、担当課係長等が内容説明・・・

○有島記念館

下田委員：施設の雨漏りはどのくらい修繕できそうですか。

有島記念館係主査：今雨漏りの補修をしてしまうと、施設改修の時に手戻りが出てしまうため、あえて予算要求はしていませんが、雨漏りの補修をすべて行った場合、約3000万円費用がかかると言われています。雨漏りの他にも修繕が必要な部分を合わせると約5000万円程度まで費用が積みあがっている状態です。50年後の財政規模で運営可能な施設にしていく必要があると思います。

教育長：有島記念館だけでなく、教育施設全体が修繕が必要な状態となっており、教育委員会全体で優先付けしながら予算付けをしていく必要があります。

巻委員：今の時点で具体的なことは言えませんが、例えば倶知安町ではプールと絵本館を複合して整備するなどの事例もあり、ニセコ町でも単独で施設を更新するのではなく複合化施設とするなど、将来のことを考えて町全体のビジョンを作っていく必要があると感じました。できるだけ早く直して有効に使える施設にしてほしいと思います。

教育長：プールや体育施設など、今後は他町村との広域で活用するなどといったことも考えられると思います。部活動も単独の町村ではチームを組めないこともあり、連携が必要となっています。

下田委員：町長は有島記念館の改修に対してどのような思いを持っているのでしょうか。

有島記念館係主査：町長個人の考えはここではわかりかねますが、過疎債を活用できる数年の間に改修しなければ、その後単費での改修が難しいことは明らかであり、現実を考えれば今のうちにやるしかないのではないかと思います。

越湖委員：現在の場所は景観が良い場所にあるが、少し市街地からは離れていることもあり、複合化を検討する場合にもどの施設を複合させるか考える必要があると思います。将来のことも考えて、今優先してできる対策としては、エネルギー面のことを考えた照明の交換ということでしょうか。

有島記念館係主査：財源の問題もあり、LED照明の整備だと電気代の節約にもなり補助金が活用できるため、優先的に要望を上げています。財源がなければ難しいです。有島記念館はあの場所にあるから意味があるということもあり、移設するわけにはいかないと思います。町民にとっては郊外の立地かもしれないですが、町外の人にとっては眺めも良い場所でもあるので、周辺環境も活かしながら施設について検討できればと思っています。

休憩 10時05分

開会 10時08分

○学校給食センター

下田委員：人繰りが非常に大変かと思いますが、現状はどのような感じでしょうか。

学校給食センター長：今フルタイムの調理員が40代～50代と年齢層が偏っており、退職時期が重なって今後一斉に辞めてしまう可能性もあります。調理員を新たに募集するにも、最低賃金で募集をかけても応募がない状況です。また町の方針ではフルタイムの会計年度職員を今後減らしていくということもあるため、民間事業者へ委託しなければ運営できなくなる状況もあり得ると思います。

下田委員：民間への委託先についてはどこか目星はついていませんか。

学校給食センター長：現時点で数社から営業を受けており、今後活用することがあるかも

しれません。ただ、民間に委託をした場合も最低賃金で人員が確保できるわけではないので、人件費やその他の運営経費も含めた委託料を支払うとなると、直営の方が安く運営できるということもあり得るので、財政担当と協議をしていく必要があります。

下田委員：集落支援員や地域おこし協力隊の活用はできないですか。

学校給食センター長：給食センターでの業務は地域に出ていく業務がないので、単純に活用するのは難しく、例えば他の業務との兼務などという体制を検討する必要があります。そのほか、給食センターでフルタイムで2年間勤務した場合は調理師免許の受験資格を取得することができるため、免許取得を目指している方などとうまくマッチすれば活用ができるかもしれません。

教育長：人員確保の問題は給食センターだけでなくさまざまな場所で課題となっています。学校や幼児センターもそうですが、最低賃金で人員を確保するのは非常に難しい状況となっています。

学校給食センター：近隣の町村で給食センターを直営しているのはニセコ町と蘭越町ぐらいです。他の町村は民間委託ということですが、最近の食材費高騰などの負担を民間事業者が背負った結果倒産してしまったというような事例もあり、民間事業者も厳しい状況であるようです。

休憩 10時30分

開会 10時35分

○学校教育課

・総務係

下田委員：教職員住宅の老朽化について、毎年修繕を繰り返すだけでは限界があると思いますが、何か抜本的な対策は考えているのでしょうか。教員住宅の住み心地が良くないと、ニセコ町に赴任したくないという教員も増えると思うので、きれいな住宅を整備してほしいと長年思っています。このままでは良くないので、例えば民間借り上げや、高校寮整備とリンクさせて整備などといった手段なども検討できるのではないのでしょうか。

総務係長：教職員住宅のあり方については、今後の方針作成を今年度委託しています。住宅の整備にあたっては、現状調査や教員のニーズ等も踏まえながら方針を固めていく必要があります。現地確認や現在教員へのアンケートを行っているところです。また町全体で住宅不足が課題となる中で教員住宅だけの整備で良いのかという課題もあります。調査の結果を踏まえながら、教員住宅がどうあるべきか、検討を進めていく予定です。

学校教育課長：のちほど高校寮整備の検討状況もお話したいと思いますが、寮整備については、既存の寮を使い続けながら新しい寮を整備する方向で検討を進めている状況です。既存の寮はフルに寮として活用するのではなく、新しい寮の定員を超えた場合や、教員の住居などの受け皿として活用していきたいと考えています。高校では今後学科転換により教員数が大幅に増加することになりますので、ニセコ町に赴任したけれども住む場所がないといった事態にはならないよう対応していきたいと思います。

下田委員：新幹線工事の宿舍の利用など、柔軟に検討してほしいと思います。

・学校教育係

下田委員：バスの費用が3割ほど上がっていて、ミニマムな運用を検討していくことがやはり必要でしょうか。

学校教育係長：バスについては、今年度からすでに厳しい状況となっており、スキー授業のバス借上げがバス会社の指定時間内でなければバスを運行できないということで、バスの時間に合わせて授業を組んでいるところです。料金も上がっているが、そもそも運転手が足りていない状況です。

下田委員：このままでは持続可能ではなく、別の手段も考える必要があると思います。スクールバスも限界と感じます。

学校教育係長：スクールバスはルートを変えたり、停留所をこれ以上増やさないようになど、ギリギリの状況です。今ある停留所をいきなりなくすのはハレーションが起きるのではないかと思います。

下田委員：もう少し、停留所の位置を少しずつずらして一人ひとりの歩く距離を増やした方が良いのではないのでしょうか。その方が健康のためにも良い。またバスの数も増やせないで1台で2ルート走るなど、時間差で登下校などもありえると思います。

学校教育係長：現状でも1台で2ルート走っているバスはありますが、そうすると早い便の児童生徒の登校時間が朝7時となり学校が始まるまでの時間を持て余してしまうことから、保護者からは是正の要望が出ています。

下田委員：そこがうまく解決するとということもあるかもしれません。

学校教育課長：夏場は徒歩でもそれほど問題はないのですが、冬場は歩道除雪に課題があります。

下田委員：そうはいつでも運転手がいらない状況では持続可能ではないので、検討が必要であると思います。

下田委員：日本語を話せない児童生徒の就学が今後増えてくるということでしたが、タブレット等を活用してある程度対応しつつも、授業に無理やりついてこさせようとするのは難しいと思います。どのような対応ができるのでしょうか。

学校教育係長：子どもに1人1台配布しているタブレットや翻訳機を使いながらなんとか対応していきたいと思っています。

下田委員：多様性に寄り添うにも限界があり、先ほどのバス問題もそうだが、一人ひとりがもう少し学校側に歩み寄ることができればと思いました。

巻委員：英語の補助はできても、それ以外の言語に対応できる人材はなかなかいないと思います。どこまで多様性に対応できるか、非常に難しい問題であると思います。

学校教育課長：今まで受け入れた外国人は、たまたま英語ができる子ばかりだったので対応できていたが、今後は宿泊施設等で働く従業員のご家族など、英語以外の言語の子どもはこれから増えると考えられます。

学校教育課長：幸いにもニセコ町内には多様な言語に対応できる人材がいるので、地域人材の活用も可能な限りしていきたいと思っています。

教育長：倶知安町などはどのように対応していますか。

学校教育係長：倶知安町でも英語の子どもの対応については聞いているが、英語以外の子どもの対応については、事例があるかどうかわかりません。

学校教育課長：全国的な事例では、海外からの労働力が多く流入している地域では多言語の子どもに対応した日本語指導を行っているところもありますので、先進事例を勉強していきたいと思います。

教育長：人材確保が最も重要になってくると思います。

巻委員：熱中症計は中学校分しか要望がないが、小学校には必要ないのでしょうか。

学校教育課長：すでに各学校に設置をしている中で、中学校は部活動などもあるので複数設置したいということでの要望と認識していますが、再度小学校にも確認します。

・高校教育係

なし

・高校改革係

なし

休憩 午後0時05分

開会 午後1時00分

○町民学習課

・町民学習係

なし

・スポーツ係

下田委員：体育館のLED化はどの程度進んでいますか。

スポーツ係長：体育館のLED化については、事務所部分は平成25年度に実施した施設改修時に完了しておりますが、アリーナ部分のLED化がまだ済んでいない状況です。アリーナ部分の工事費は約2000万円かかるといわれています。現在電気代は1月あたり約20～25万円程度かかっています。LED化すれば、電気代は約半分になるのではないかと見込んでいます。

越湖委員：スキーの講師の人材確保は目処が立っているのでしょうか。

スポーツ係長：例年通り、町スキー連盟に依頼をしています。

教育長：インバウンドが増えてきているので、今後は人手不足も予想され、その場合は講師の料金引き上げなどの対策も検討していかなければならないと思います。

休憩 午後1時50分

開会 午後2時00分

○こども未来課・

・こども未来係

なし

○幼児センター・地域子育て支援センター

・事務係・保育係

教育長：来年度の全体の要求額は今年度と比べてどの程度増減していますか。

こども未来課長：工事費の予算が大きいため、全体の要求額も増加しています。人件費の増額については、これまでフルタイム雇用の会計年度任用職員分を総務費で計上していましたが、今後退職して次の人を任用する際、町の方針では原則パートタイムで会計年度任用職員を任用することとしており、パートタイム雇用分の人件費は原課で対応することにより増額が生じています。また子ども子育て支援計画の策定や、DX対応にかかわる費用が主な増額分となっています。

教育長：施設のLED化の状況はいかがですか。

こども未来課長：増築棟はLEDですが、それ以外のLED化は完了していません。今後企画環境課とも協議しながら検討していきたいと思います。

下田委員：施設の雨漏りの状況はいかがですか。

こども未来課長：今のところ室内への実害はありません。幼児センターだけでなく、さまざまな施設で防水工事が行われているところで、町の中でも優先順位等あると思いますが、被害が出る前に様子を見ながら、工事を実施したいと思います。雨漏り対策はこれまでも部分的に実施してきた経緯がありますが、大規模な工事をすると費用も大きくなるので予算の確保が難しい状況です。

教育長：大きな被害が出る前に対策をするのが望ましいですが、費用が大きいので難しい状況ではあると思います。昨年はあそぶっくの工事を実施しています。

学校教育課長：昨年は中学校でも雨漏りが発生し、修繕工事を実施しました。町全体の施設で雨漏り対策が課題となっている状況ではあります。

・子育て支援係

なし

教育長：「議案第2号」の提案理由の説明、質疑が終わりました。

それではこれまでの説明を通した総括質疑を行います。

質疑はありませんか。

下田委員：教育委員会全体の要求額が約9億3千万円となっていますが、例えば施設のLED化や改修工事などはさまざまな施設で対応が必要となっており、個別に対応するのではなく、総合計画等で全体の方針を決めていく方が良いのではないのでしょうか。

教育長：基本的にはそれぞれ所管の部局で予算対応することになっています。施設ごとに要求度や必要度も異なっているため、国からの大きな財源があるなどすれば状況は違うのかもしれませんが、現在は所管ごとの対応となっています。

学校教育課長：現在町全体として一番大きいのが、過疎債を活用できる期限が迫っているため、その間の施設の整備や改修が集中的に行われることになるかと予想されます。とはいえ借金には変わりなく、また使える金額も限られている状況の中で、どこに予算を充てるか精査が必要になっています。

下田委員：総務省から予算の出る集落支援員や町の経費である会計年度職員の予算が同じ予算で計上されるのはなぜですか。

学校教育課：集落支援員については町の各部署に配属されていますが、それらの予算は一括で企画環境課に支払われています。ただし、実際に支出するのは各部署という

ことになるので、今回の資料だけをみると集落支援員も会計年度任用職員も一緒に一緒に支出されているように見えますが、実際には集落支援員の歳入分が企画環境課に入っているという形になります。

下田委員：人の確保と住宅の整備についても、本来はセットで総合計画で議論されるべき話であると思います。教育委員会議では、もっと教育的な予算に関する議論ができれば良いと思います。最後に、雪冷房設備など、地域資源を活用したエコロジ的な取り組みを進めていけると良いと思いました。

・・・質疑なしの声・・・

教育長：以上で質疑を打ち切ります。

「日程第6 議案第2号 令和5年度ニセコ町教育費予算（案）について」は、提案のとおりとすることに異議ございませんか。

・・・異議なしの声・・・

教育長：異議なしと認め、「議案第2号」は、原案のとおり決しました。

教育長：「日程第7 その他、説明・協議事項」についてです。
何かございますか。

・・・学校教育課長から、令和5年度要保護及び準要保護児童生徒の認定（次年度新就学児童生徒対象者の認定）について、及び高校改革の進捗状況について説明・・・

教育長：説明が終わりました。
質疑はありませんか。

越湖委員：高校改革については、新しい校長先生が赴任してから加速度的に進められており、今が正念場だと思うので、頑張ってくださいと思います。「英語村」の取り組みについてもうまく進めてほしいと思っています。

教育長：全国的に少子化が進む中で、町内、管内から生徒を集めていても定員が集まらない状況です。地域みらい留学という仕組みを活用して全国から生徒を募集しているが、ニセコのブランドで子どもを通わせたいという保護者の方も多くいらっしゃるため、そうした生徒を受け入れるためにも、寮の整備は重要です。

越湖委員：取り組みの結果、地元の生徒の進学も増えればと思います。

教育長：今までなんとなく近隣の高校に進学していた生徒も、ニセコ高校に進学して、大学進学や就職など進路の幅を広げていってもらえたらと考えています。

教育長：その他連絡事項等ございませんか。

・・・学校教育係長から今後の日程の説明・・・

教育長：この際ですので、各委員から何かございませんか。

・・・なしの声・・・

教育長：以上で、第10回教育委員会臨時会を終了いたします。
ご苦労様でした。